

統合小学校新校舎建築についてのアンケート調査結果 教職員の意見

2020/07 集計



1 調査の目的

統合小学校新校舎建築に関する基本方針を設定するために、それぞれの立場から考える理想とする学校像についての意見を集める。

2 調査対象

天栄村立小学校	教職員	36件
天栄村立幼稚園	教職員	9件
天栄村立保育所	職員	10件
合計		55件

3 調査方法

回答用紙を学校を通して実家庭に配付し、記入の後、封筒に入れ学校提出

4 調査期間

令和2年6月16日～令和2年6月26日

5 回収状況

回収件数 55件 回収率 100%

6 アンケート結果の概要

「きめ細やかな指導や多様な学習形態に対応できる柔軟性のある部屋やスペース」39件がトップとなる。次いで、「防災性、防犯性など児童の安全面への配慮」で37件、上位5件までで見ると「校舎における情報ネットワークの整備」が28件「屋内運動場やプール、校庭など運動施設の充実」23件、「児童がのびのびと主体的に学べる部屋やスペース」が21件、となる。

おおよそ、保護者と重なる結果となった。ただ、コロナ禍にある現状、将来の教育のあり方を踏まえて、「校舎における情報ネットワークの整備」が上位に挙げられており、ネットワーク環境整備は、教える側として必要感が高いことが分かった。

7 アンケート結果

天栄村立小中学校統合に関するアンケート調査 (教職員) 集計【全体】



17. その他

- ・校地内の駐車スペースを広く確保、整備すること
- ・保健室をゆとりのある広さにしてほしい。失禁等もあるのでシャワールームが必要。相談室が隣接している。
- ・エレベーターの設置。2階建ての校舎。
- ・オープンスペースの教室は児童の集中力が続かなくなるので
- ・インターフォンの設置。
- ・特に大切という訳ではないのですが、購買部があると便利だと思います。
- ・小学校から中学まで続けられる部活（テニスなど）を充実させて強い選手を育てる
- ・自然の生き物が観察できる場所（タニシ、ザリガニ、カタツムリ、鳥）などが来やすい場所づくり。・動物がいる場所。
- ・子どもたち一人一人が伸び伸びと学べる場であってほしい。天栄村で育ち、学んだ事に自身や誇りを持てるような大人になってほしいと思うので、一人一人個性を大事にした教育環境を整えてほしい。

●質問③ 質問②でお選びいただいた項目について、具体的なご意見があればお書きください。

- ・保健室は1階、病人、けが人の来室や健康診断もあるので、それぞれのスペースが必要。
- ・低学年は大・小失禁があるのでシャワールームが必要。
- ・オープンスペースの教室の学校に勤務した時、隣接する学級の聞こえ、児童が落ち着かなかった。集中力が途切れる。
- ・身体障がい者の入学や、けが人発生に備えたエレベーターが必要。
- ・安全面、緊急時にインターフォンは必要。
- ・各クラスと職員室直通の電話があるとありがたい。指導等で担任が離れられない場合、ヘルプの場合も考えられるため。
- ・防災の面で安全な場所に建築することを希望します。（土砂災害、水害等）
- ・安全面が第1と考えてほしいと思う。
- ・図書館と子ども教室、地域の方（ボランティア等）がいる部屋を一緒にし、図書館を放課後の学校の拠点とする。
- ・体育館・・・バスケットボールコート2面を十分にとれる広さ。校庭・・・1周160mトラックを確保できる広さ。低学年の体づくり運動「固定施設を使った運動遊び」で十分に活動できる遊具等の確保
- ・村の中心として、他校の児童生徒、教職員の交流が促進される学校となることを希望します。
- ・地域と学校の意見が反映された校舎建築になることを希望します。

●質問④ 現在の学校特色（他行と違う点、良いところ、誇れるところ、あるいは、のこしたいところ）についてお書きください。

広戸小学校

- ・食堂システムは、慣れると衛生的だと思う。
- ・豊かな水と自然は他にはない。これを生かす。
- ・地域の方々に協力してもらい、農業の先生として教育に関わっていただいている点は残したい。
- ・他校と同じで地域とのつながりは残していきたい。
- ・校地内、周辺の車の行き来と児童の歩行、活動場所が分けられていて安全に活動できる。

- ・「日本一仲の良い学校」いじめのない、不登校のない学校づくり。天栄村の地域を知る学習や活動「人・もの・自然」を通じた学習・活動力。
- ・「日本一中のよい学校宣言」を掲げ、全校で取り組んでいるところ。地域学習に重点を置いている所。
- ・自然が豊かで素晴らしい環境
- ・自然との調和

大里小学校

- ・各校の伝統的な行事（取り組み）は1つずつでも残してほしいです。例えば大里小であれば太鼓の演奏（クラブ活動でもいいので…）。地域人材は、人材バンクとして登録して活用をはかっていってほしいです。
- ・大里地区の伝統を引き継ぎ、誇りをもって地域を愛する児童の育成。
- ・わらし太鼓
- ・大里城物語、わらし太鼓
- ・みんな仲良く元気なところを残していきたい。
- ・地域の優秀な人材を学校教育に生かしている。

牧本小学校

- ・意識・・・素直な児童が多い。集金の未納がないなど、教育への関心が高い。学校田など地域の協力度が高い。
- ・子どもたちが思いっきり遊ぶ時間の確保(遊びタイム、放課後)。支援体制（TT や個別指導、支援）
- ・児童同士が学年を超えて関わり合えるところ。地域の方が学校教育に協力的なところ
- ・子どもが学校に来ることに感謝し、「全ての子どもの中に、その子にしかないその子の光を見つけること」を学校の使命としているところ。地域の絆の強さ。
- ・たて割活動
- ・子どもたちの縦のつながり。地域との絆。

湯本小学校

- ・超少人数による個に応じた指導、支援。ゴルフ教育。スキー教育の実施。
- ・極小規模校における個に応じた教育活動、支援の実施。豊かな自然を利用した活動。地域の人材。スキー。ゴルフ。
- ・児童の特質や教育的ニーズなど、一人一人の児童に対応した教育活動が実践できる。地域や人的資源が豊富で、それらを生かした教育活動が行えるところ。
- ・少人数なので、子どもたちと教職員の距離が近いところ。

天栄幼稚園

- ・各学校の特色がそれぞれあるかと思いますが、その特色を残していただきたい。牧本は地域と密接していると思う。大里は伝統文化など。

湯本幼稚園

- ・幼少連携が図りやすい

天栄保育所

- ・少人数で学べるところ

●質問⑤ 統合新校において、屋内運動場、校庭以外の部屋やスペースを地域開放するにあたり考えられる留意点をお書きください。

- ・共同使用における管理上の問題をできるだけシンプルにする。
- ・開放の対象となる範囲が広がることによる利用機会の増加。それに伴う事務処理。施設利用の仕方についての地域への周知等。
- ・利用方法の周知徹底。事務処理及び管理。
- ・開放の管理、整備を学校と連携しつつ、学校外で担当する。
- ・備品等の管理について（地域との共有？それとも分割可能など）。複数の団体の利用が重複する可能性もあるのではないのでしょうか。
- ・子ども教室を校舎内に設置する時は警備の面から区切りのシャッターや柵があると良い。
- ・開放する際は施錠が団体別にできることが大切。管理職特に教頭の時間外勤務があたり前になるようなことは避けるべきと思う。
- ・地域交流ゾーン（図書館、体育館、ボランティア等）は校舎と別警備にする。
- ・休日に貸与する際の管理
- ・働き方改革の観点から教職員に対しては、子どもに向き合う時間等の確保を優先させ、地域開放に関する事務や管理は教職員以外が担うべきと考えています。
- ・自由に使えるよう部屋を設計（児童と地域の方々）。
- ・災害時に対応できる須賀川市役所のような、かまどにもなるベンチやヘリポートにもなるスペースの確保
- ・冷暖房完備であること。トイレを児童用とは別に設置する。できれば外から直接出入りできるように。
- ・スペースを開放するにあたり、冷暖房の設備は必要である。
- ・防災、防犯面の配慮。
- ・防犯面が不安
- ・警備員ではないが担当する職員が複数いることで安全が確保できる。
- ・防犯、子ども達の安全
- ・開放する上での防犯上の安全性を考えてほしい。
- ・通常時の安全面の確保（施錠・モニター設置等）。地域開放するという事は、いつでも・だれでも入ってくる事が可能。
- ・児童の学習に関する個人情報を守る点。
- ・個人情報の管理
- ・利用者のマナー（利用の仕方）の徹底。
- ・体育用のマット、跳び箱のバリエーションを増やしてほしい。
- ・時間と場所は確保できるか

●質問⑥ その他、新しく建築する学校についてのご意見がございましたら、ご自由にお書きください。

- ・村で小学校が1つとなるのであれば、中学校と連携した活動が行えるような環境。
- ・登下校について、児童の負担が少なくなるようにする。日課表、スクールバスなど。
- ・木材を使用したあたたかみのあるものにしていただきたい。装飾にこだわってしまうと使いにくくなるので、シンプルなものがよいと思う。
- ・実際に校舎を使い始めると、毎日の活動に影響する備品や付属するものが使い勝手がいいとよい。水場（高さ、温水、蛇口）。空調（全部屋完備、十分に温度調節できるもの）。各教室のロッカーや棚など。意外と後で変更しにくいと思います。

- ・村の特色を十分生かしたオリジナリティあふれる学校。自然に恵まれている、「森に沈む学校」。歴史的価値のある素材が豊富である。米づくり（天栄米ブランド）。施設の充実。温水プール。子供らが屋内外問わずリラックスできる「ホッとスペース」。きる「ホッとスペース」。
- ・低学年、特に1年生の教室は1階でお願いしたい。ランチルームでの給食にもよい点はあるが、今回のようなコロナ感染予防となると、各教室で…が望ましくなる。対応として、運搬の負担を少なくするためにエレベーターがあるとよい。
- ・「明るい学校」になるとよいなと思います。（採光面でも、空間面でも）
- ・隠れて見えない場所（死角になる所）がなく、オープンで開放的な学校。また天栄村には温水プールがないので、温水プールを作り、地域に開放していただきたい。
- ・放課後子ども教室や児童クラブのあり方も考慮した施設整備が必要だと考えます。
- ・2階建てがよい。エレベーターがほしい。教室にインターフォン（電話など）職員室との連絡手段が欲しい。保健室は1階にあるとよい。トイレは洋式がよい。
- ・「また明日来たい」と思える学校。機能性。心が豊かになる環境。
- ・バリアフリー。省エネ等の対応。
- ・特別教室含む各学級に校内電話。バリアフリーの視点でエレベーター、スロープ等。
- ・特別な支援を要する子どもや悩みをかかえる子どもへの対応や相談が柔軟にできるスペースの確保が必要と考えます。（ハード面、ソフト面、特に人的配置）
- ・統合新校が現在、存続される他校との交流を進めることが可能な学校づくり（ソフト面、ハード面の両面）を希望します。
- ・統合によるメリット、デメリットを明確に取り上げ、協議を進めていただきたい。
- ・学校の場所をどこにするかによって、考えられる課題がたくさん出てくる。ひとつひとつ課題を解決して、できる限り多くの村民が納得するような学校づくりを進める。
- ・天栄村のまん中に建てると通いやすいため、いいと思います。
- ・地域の方々の意見も大切かと思うので、とりまとめたほうが良いのかと思います。
- ・3地区が通えるような真ん中の辺りに建築。
- ・時間的にも余裕があるのであればできるだけいろいろな学校を視察に行った方がよいと思います。全国には教育内容、施設などすばらしい学校がたくさんあります。